



札幌水道 ビジョン

2015 — 2024

[改定版]



安心でおいしい水をいつまでも

 札幌市水道局

はじめに

昭和 12 年に誕生した札幌水道は、80 年を超える歴史の中で、利用者の皆さまに安心安全な「水」を届けるという使命を全うしてまいりました。今では、給水人口 196 万人、給水普及率は、ほぼ 100%に達するまでに成長し、市民活動や都市活動を支えるための欠かせないライフラインを担う存在となりました。

「札幌水道ビジョン」は、本市水道事業の今後の課題や、取組の方向性を明らかにしたうえで、10 年間の計画期間に取り組んでいく事業などをまとめたものです。

このたび、2020 年度からの計画後半期のスタートに合わせて、これまでの取組を振り返り、策定当初に想定していなかった新たな課題や、利用者のニーズにより的確に対応していくため、計画の改定を行いました。

特に 2018 年 9 月に発生した北海道胆振東部地震では、市内の一部で大規模な断水が発生したほか、全市的な停電の影響により、水道局の災害対応業務にも一部支障が生じました。また、近年では、全国各地で台風や豪雨などの水害により、水道施設が被害を受ける事例が発生しています。

こうした災害の経験や教訓は、今回の計画改定にしっかりと活かし、施策として盛り込んでいます。

これまでの時代は、「まち」の発展や人口の増加を背景として、水道事業も拡大の一途を続けてきましたが、これからは、組織として経験をしたことがない人口減少社会を迎えます。

そのような中で、持続可能な水道システムを構築し、事業を進めていくためには、これまで以上に市民に信頼され、満足度を高めて、愛着を持ってもらう努力をして、評価されなければなりません。

そのような行動を水道局職員が皆で意識し、組織として、取り組んでいくため、札幌水道ビジョンでは、「実感できる札幌水道」をキャッチフレーズとして掲げています。これは、利用者の皆さまに安全で「おいしい」水であることをしっかりと実感していただき、より一層、安心・満足してもらえるように努めるという行動指針です。

札幌水道をより発展させ、後世へ引き継いでいくため、引き続き、強靱かつ持続可能な水道の実現に向けた取組を着実に進めていくとともに、利用者に安心し満足してもらえるように職員が一丸となって前進していきます。

2020 年 3 月

札幌市水道事業管理者

三井 一敏

目次

第1章	札幌水道ビジョンについて	1
	札幌水道ビジョン（改定版）の全体像	4

構想編

第2章	基本理念と目標	6
第3章	札幌水道のあゆみ	8
第4章	札幌水道の現状と課題	10
第5章	今後の事業環境と事業展開の考え方	29

施策編

第6章	10年間の取組姿勢	38
第7章	重点取組項目と事業の実施計画	40

重点取組項目1 水源の分散配置と水質の安全性の向上

主要事業1	水源の水質保全	42
主要事業2	水源の分散配置	43
主要事業3	水質監視・管理	44

重点取組項目2 施設の更新・耐震化と危機管理体制の強化

主要事業4	取水・導水・浄水施設の改修	45
主要事業5	送水システムの強化	46
主要事業6	配水管の更新	47
主要事業7	水道施設の効率的な維持・保全	48
主要事業8	耐震化の推進	50
主要事業9	応急給水対策と保安の強化	52

重点取組項目3 利用者とのコミュニケーションの充実

主要事業10	利用者とのコミュニケーションの充実	54
主要事業11	小規模貯水槽水道や給水装置の適切な管理の支援	55

重点取組項目4 経営基盤の強化と連携の推進

主要事業12	財務基盤の強化と経営の効率化	56
主要事業13	技術力の確保・向上と国際貢献	57
主要事業14	広域化の推進や多様な主体との連携	58

重点取組項目5 エネルギーの効率的な活用

主要事業15	エネルギーの効率的な活用	59
--------	--------------	----

主要事業の指標一覧	60
-----------	----

第8章	財政収支見通し	62
第9章	進行管理体制	65

資料

施設整備の方向性	68
札幌水道ビジョン前半期（2015 - 2019）の取組状況	74
札幌水道ビジョン前半期（2015 - 2018）の指標の達成状況	76
財政収支の推移	78
札幌水道ビジョン策定の経過	79
札幌水道ビジョン改定の経過	93